

I (1)  $x, y, z$  は実数で  $xyz \neq 0$  とする. もし

$$2^x = 3^y = \boxed{\phantom{00}}_{(1)} \boxed{\phantom{00}}_{(2)}^z$$

ならば

$$\frac{3}{x} + \frac{2}{y} = \frac{1}{z}$$

である.

(2) 関数  $f(x) = x^2 - 2$  に対して,  $g(x) = f(f(x))$  とおく. このとき, 方程式  $g(x) = x$  の解は

$$\boxed{(3)} \boxed{(4)}, \quad \boxed{(5)} \boxed{(6)}, \quad \frac{\boxed{(7)} \boxed{(8)} \pm \sqrt{\boxed{(9)} \boxed{(10)}}}{\boxed{(11)} \boxed{(12)}}$$

である. ただし, 最初の数は 2 番目の数より小とする.

(3) 直線  $y = -3x$  上の点 P と, 曲線  $xy = 2$  ( $x > 0$ ) 上の点 Q の間の距離の最小値は

$$\frac{\boxed{(13)} \sqrt{\boxed{(14)} \boxed{(15)}}}{\boxed{(16)} \boxed{(17)}}$$

である.

II (1)

$$\int_0^1 |x - a|(x + 1) dx$$

を最小にする  $a$  の値は

$$a = \frac{\boxed{(18)}\boxed{(19)}}{\boxed{(22)}\boxed{(23)}} + \frac{\boxed{(20)}\boxed{(21)}}{\boxed{(22)}\boxed{(23)}} \sqrt{\frac{\boxed{(24)}\boxed{(25)}}{\boxed{(24)}\boxed{(25)}}}$$

である。

(2)  $f(a)$  を  $0 \leqq x \leqq 1$  における  $|x - a|(x + 1)$  の最大値とする。このとき  $f(a)$  を最小にする  $a$  の値は

$$a = \frac{\boxed{(26)}\boxed{(27)}}{\boxed{(28)}\boxed{(29)}}$$

である。

III (1) 1 から 15 までの自然数全体からなる集合  $\{1, 2, \dots, 15\}$  の部分集合で, 10 個の要素からなり, すべての要素の和が 56 以上になるものは全部で  $\boxed{(30)} \boxed{(31)} \boxed{(32)} \boxed{(33)}$  個ある.

(2) 女子 7 人と男子 4 人がいる. その中から 3 人を選び, 3 個の異なるお菓子を 1 人に 1 個ずつ与える. ただし, 2 人以上の女子を選ばなければならぬとすると, 与える方法は  $\boxed{(34)} \boxed{(35)} \boxed{(36)}$  通りである.

IV 関数  $f_1(x), g_1(x)$  をつぎのように定める.

$$f_1(x) = \begin{cases} 1 & (x > 1) \\ x & (-1 \leq x \leq 1) \\ -1 & (x < -1) \end{cases}$$

$$g_1(x) = \frac{1}{2}(f_1(1+x) + f_1(1-x))$$

このとき

$$\int_{-1}^1 g_1(x) dx = \frac{\boxed{(37)}}{\boxed{(38)}}$$

である.

つぎに関数  $f_2(x)$  をつぎのように定める.

$$f_2(x) = \int_0^x g_1(t) dt$$

このとき

$$f_2(x) = x - \frac{x^2}{\boxed{(39)}} \quad (0 \leq x \leq 2), \quad \int_0^2 f_2(x) dx = \frac{\boxed{(40)}}{\boxed{(41)}}$$

を得る. さらに

$$g_2(x) = \frac{1}{2}(f_2(1+x) + f_2(1-x))$$

とおけば

$$g_2(x) = \frac{\boxed{(42)}}{\boxed{(43)}} - \frac{\boxed{(44)}}{\boxed{(45)}} x + \frac{\boxed{(46)}}{\boxed{(47)}} x^2 \quad (1 \leq x \leq 3)$$

そして

$$\int_{-3}^3 g_2(x) dx = \boxed{(48)} \boxed{(49)}$$

を得る.

V つぎの **1**, **2** のうち, いずれか 1 間を選択し答えなさい. **1** を選択する場合, 解答用紙の V-1 をマークし, **2** を選択する場合, V-2 をマークしなさい.

**1** 数列  $\{a_n\}$  に対してつぎのように定められる数列  $\{b_n\}$  を  $\{a_n\}$  の階差数列という.

$$b_n = a_{n+1} - a_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

$\{b_n\}$  の階差数列を  $\{c_n\}$  とし,  $\{c_n\}$  の階差数列を  $\{d_n\}$  としよう. いま

$$a_1 = 1, \quad b_1 = 2, \quad c_1 = 4$$

であり,  $d_n$  はすべて 8 に等しいとする. このとき

$$a_5 = \boxed{(101)} \boxed{(102)}, \quad a_6 = \boxed{(103)} \boxed{(104)} \boxed{(105)}, \quad a_7 = \boxed{(106)} \boxed{(107)} \boxed{(108)}$$

であり, 一般に

$$a_n = \frac{1}{3} \left( \boxed{(109)} \boxed{(110)} n^3 - \boxed{(111)} \boxed{(112)} n^2 + \boxed{(113)} \boxed{(114)} n - \boxed{(115)} \boxed{(116)} \right) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

である.

2  $n$  を正の整数とし, 正数  $a$  の  $n$  乗を計算するとき, 単純には  $n - 1$  回のかけ算をおこなえばよいが, 公式

$$a^{pq} = (a^p)^q$$

を用いるとより効率的に計算することができる. たとえば,  $3^{10}$  の計算は, 単純に計算すると 9 回のかけ算が必要になるが

$$3^{10} = (3^2)^5 = 9^5 = 9 \times 9^4 = 9 \times (9^2)^2 = 9 \times 81^2 = 9 \times 6561 = 59049$$

とすれば, 4 回のかけ算で計算することができる.

つぎのプログラムは, 正数 A と正の整数 N を入力したとき, A の N 乗を計算するものである. プログラムの空欄に入るもっとも適切な選択肢を選び, その番号を答えなさい.

```
100 INPUT A  
110 INPUT N  
120 LET X = 

|       |       |
|-------|-------|
| (201) | (202) |
|-------|-------|

  
130 IF N = 0 THEN GOTO 190  
140 IF INT(N / 2) = 

|       |       |
|-------|-------|
| (203) | (204) |
|-------|-------|

 THEN GOTO 

|       |       |
|-------|-------|
| (205) | (206) |
|-------|-------|

  
150 LET X = 

|       |       |
|-------|-------|
| (207) | (208) |
|-------|-------|

  
160 LET N = 

|       |       |
|-------|-------|
| (209) | (210) |
|-------|-------|

  
170 LET A = 

|       |       |
|-------|-------|
| (211) | (212) |
|-------|-------|

  
180 GOTO 

|       |       |
|-------|-------|
| (213) | (214) |
|-------|-------|

  
190 PRINT X  
200 END
```

[選択肢]

(10) 0

(11) 1

(12) 2

(13) 130

(14) 140

(15) 150

(16) 160

(17) 170

(18) 180

(19) 190

(20) A \* N

(21) A \* A

(22) A \* X

(23) A \* 2

(24) N + 1

(25) N - 1

(26) N \* 2

(27) INT(N / 2)

(28) N / 2

(29) X \* X

(30) X \* 2